

興譲館の梅

【学校教育目標】

やさしく、かしこく、たくましく
笑顔の花咲く 桜っ子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

令和7年6月2日 文責：校長

5年生の自然教室

- 自分たちで考え、進んで行動しよう。
- 友達と助け合い、協力して取り組もう。
- 波戸岬でしかできない体験に挑戦しよう。

これらのめあてを達成するために、5年生は5月28日(木)、29日(木)の一泊二日で波戸岬少年自然の家に研修に行き参りました。

出発式の時に、私は子どもたちにこの研修には3つの出会いがあることを話しました。

一つ目は「自然」との出会いです。日頃は体験できない自然の美しさ、雄大さ、厳しさ等を直接体験することで、子どもたちが成長していきます。

二つ目は「がまん」との出会いです。スマホもテレビもゲームもない、お菓子やアイスクリームもない、今の子どもたちにとっては少々酷かもしれませんが、忍耐力(精神的な強さ)や自分をコントロールする力が身につきます。

三つ目は「友達」との出会いです。学校ではいつも一緒に過ごしている友達。でも、一緒に体験活動をすることによって、新たな友達の一面に出会うこととなります。「きついときにやさしく声をかけてくれた。」「進んでみんなの食器をまとめて片付けてくれた。」「困っていたときに手伝ってくれた。」等、友達のよさに気づきます。そしてこのことから新たな人間関係が生まれてきます。

初日のウォークラリーでは、絵地図を見て判断しながら歩みを進めていきました。友達同士で意見を出し合い、合意形成をして活動します。また、二日目のカッターボート体験では、息を合わせながら重いオールを漕ぎました。一致団結しないとボートは前に進めません。子どもたちはどちらの活動においても、自分もがんばったけど、友達がいたからこそゴールへたどりつけた、と実感したことと思います。子どもたちは改めて友達の大切さ、周りの人の大切さに気づき、学ぶことができました。

また、感心させられたこともありました。それは、いわゆる「5分前集合」ができたことです。夕べの集い、夕食、風呂、キャンドルの集い、朝の集い等において、集合時刻の5分前、場合によっては10分前に集合することができていました。5年生にはこれからもこの長所を生かし、他の学年をリードして行ってほしいと思いました。

帰校式で子どもたちが話していた「この体験をこれからの学校生活に生かしていきたい。」という言葉が、今後の生活で体現できているか、職員で見守ってまいります。

小城ルーテルこども園様からのお花のプレゼント

5月21日(水)に小城ルーテルこども園様より、周りの方に感謝を届けるという意味で花のプレゼントがありました。プレゼンターはかわいい年少組の園児達でした。一人一人が可愛らしく、心が和みました。

PTA 県下一斉子どもの安全指導の実施について

県PTA連合会から、今年度も年2回の「県下一斉子どもの安全指導」について、協力依頼が参りました。詳しくは裏面のチラシをご覧ください。

学校では、交通安全や児童への登下校時の安全指導については、ほぼ毎日のように実施しているところです。

そこで、本校においても、下記のように取り組んでいければと考えております。できる範囲での取組で結構です。どうぞよろしくお願いいたします。

- ・期日:6月3日(火)から6月7日(金)まで
- ・安全指導(登校時、下校時のあいさつ、声かけなど)

※保護者の皆様のタイミングでお声かけいただければOKです。無理のない範囲でお願いいたします。